

2025 年度 安全報告書



2026 年 9 月

 大井川鐵道株式会社

1 ごあいさつ

日頃より大井川鐵道をご利用いただき、誠にありがとうございます。また、地域の皆様をはじめ関係者の皆様におかれましては、当社の事業に対し日頃より温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

当社におきましては、蒸気機関車や電気機関車をはじめとする特殊かつ多様な車両を動態保存・運行しており、これらを安全に維持管理・運用する特殊な環境にございます。だからこそ、日々の教育や長年培われた技術・技能の継承を徹底し、全社員一丸となって安全の確保に万全を期して取り組んでおります。

本報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づき、大井川鐵道における2025年度の輸送の安全確保への取り組みや、事故等の発生状況、再発防止策についてまとめたものです。皆様に広くご理解をいただくために作成いたしました。

本報告書を通して当社の安全への取り組みにご理解をいただくとともに、皆様から頂戴する貴重なご意見やご指導を、今後の安全輸送体制の更なる向上に活かしてまいります。



大井川鐵道株式会社
代表取締役社長 鳥塚 亮

2 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社は、安全第一の意識をもって輸送の安全を確保するための管理の方針、その他事業活動に関する基本的な方針を定め、安全の確保に関する業務の実施状況等を踏まえ、必要に応じて見直します。

なお、次のように「行動規範」を掲げ、社長以下従業員全員に周知・徹底しております。

- ① 一致協力して輸送の安全の確保に努めます。
- ② 輸送の安全に関する法令および関連する規程をよく理解するとともに、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- ④ 職務の実施に当たり推測に頼らず、確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- ⑤ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に努めます。

(2) 安全目標

「鉄道運転事故ゼロ」

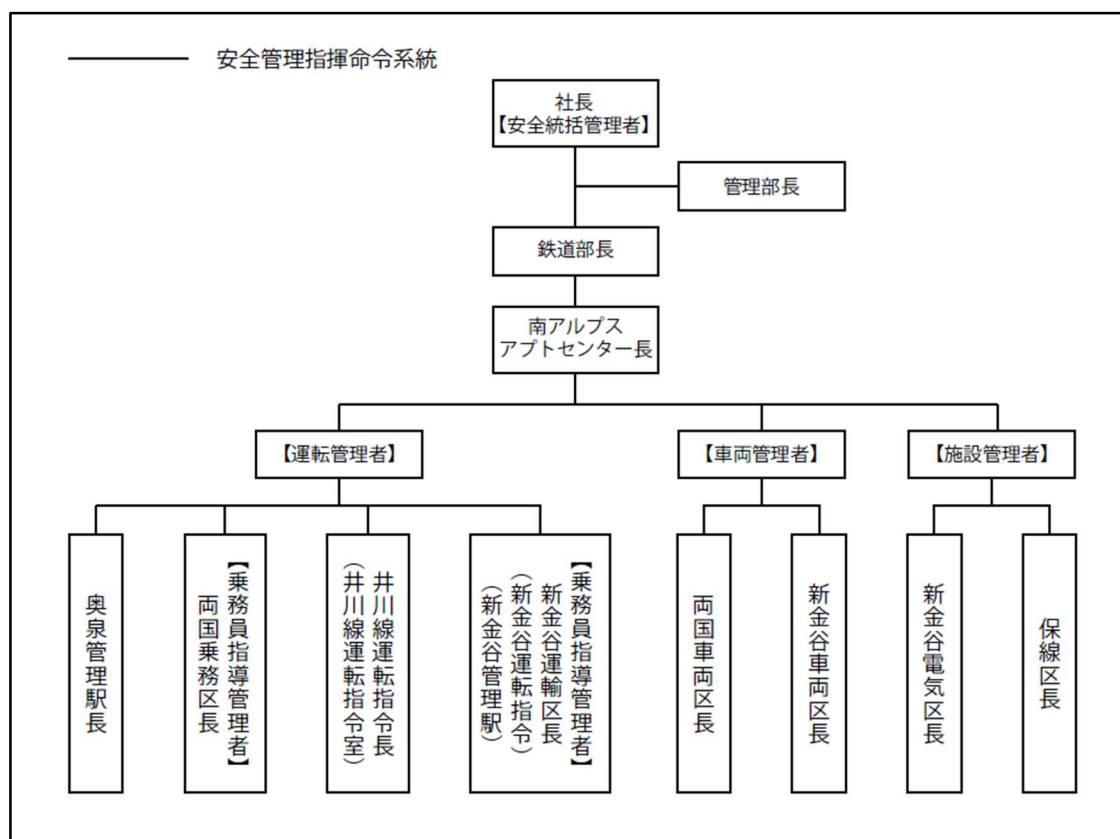
※鉄道運転事故とは、列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故、踏切障害事故、道路障害事故、鉄道人身障害事故及び鉄道物損事故の総称です。



3 当社の安全管理体制

(1) 安全管理組織体制

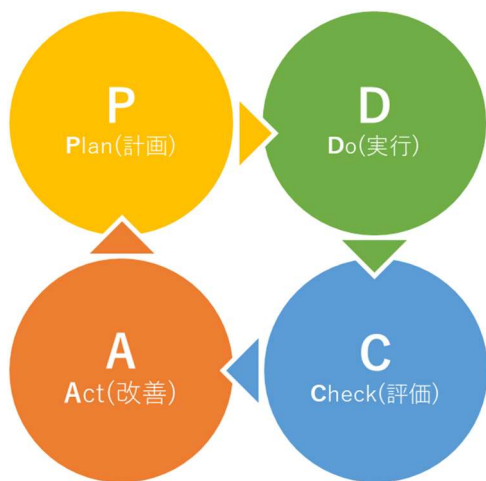
2006 年 10 月に安全管理規定を策定、2022 年 4 月に改訂をおこない、社長をトップとする安全管理組織を構築・運用しています。この組織の中で各管理者それぞれの責務を明確にし、安全確保のための役割を担っています。



社 長 【安全統括管理者】	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
管理部長	輸送の安全確保に必要な予算計画、要員に関する事項および交通施策に関する事項を統括する。
鉄道部長	安全統括管理者の命を受け、輸送の安全に関する業務を管理する。
南アルプスセンター長	鉄道部長の命を受け、井川線における輸送の安全の確保に関する業務を管理する。
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	運転管理者指導の下、所属する乗務員の資質の保持に関する事項を管理する。
施設管理者	安全統括管理者の指揮の下、土木施設および電気施設に関する事項を統括する。
車両管理者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。

(2) PDCA サイクルの実践

安全施策の計画（P）、現場での実施（D）、鉄道管理会議等での評価（C）、改善計画の
実行（A）のサイクルを回し、安全意識のスパイラルアップを図っています。



4 2025 年度 安全重点施策

安全性向上および安全目標を達成するため、安全管理規程に基づいて策定した 2025 年度安全重点施策を以下のように取り組みました。

(1) 労働災害軽減指導の実施

安全衛生委員会実施時等に注意喚起を行うと共に労働災害防止対策についての検討を行いました。2026 年度も労働災害軽減の為の指導を強化いたします。

(2) ヒヤリハット報告の環境づくり

毎月開催する鉄道管理会議において各職場からの聴き取り調査を行い、同日開催される安全衛生委員会にてヒヤリハット事象の有無や、その内容報告と再発防止策を検討しました。2026 年度も職場長から報告を受けたヒヤリハットの内容を踏まえ、安全衛生委員会でその内容を再度確認し、労働災害につながる可能性や再発防止策を検討してまいります。

(3) 入換え打合せの徹底

大井川本線にて、2023 年 11 月に列車分離を発生させてしまいました。

当社は本事案を厳粛に受け止め、只今、管理体制の見直し、現場の課題の早期把握、入換マニュアルの整備を含む教育体制の充実、強化に取り組んでおります。

(4) 接客サービスの向上

接遇マナー 5 原則（挨拶・身だしなみ・言葉遣い・表情・態度）を意識することで、お客様へ提供するサービスの質が向上できるよう努めてまいります。

(5) 旅客の安全な誘導案内の完全実施

列車がホームに進入する際の案内放送、組成や両数に合わせた客車乗降口の案内と、触車防止対策を実施しました。

2026 年度も、構内放送を活用し、注意を喚起することにより、お客様に事故やけがの無いように努めてまいります。

(6) 車両故障の低減、労働災害の低減

2025 年度の車両故障件数は本線が 22 件、井川線が 12 件で本線は前年度比 15 件増、井川線は前年度比 11 件増でした。前年度に比べて故障件数が増加した要因は、車両の老朽化ならびに線路設備の不具合です。

今後は車両故障の低減、車両整備に関する知識の習熟に加えて、線路設備の実態把握にも努めてまいります。

(7) 施設故障(信号、踏切等)の低減

2025 年度の電気施設の故障件数は、本線が 11 件、井川線が 19 件で、本線は前年度比 2 件増、井川線は前年度比 18 件増でした。前年度に比べて故障件数が増加した要因は、獣害による落石及び土砂流入、沿線樹木の枯死増加による倒木の増加です。

沿線の巡回を強化するとともに、電気施設に起因する障害の対策として信号電球の LED

化や、ブラシレス遮断機への更新をしていき、経年劣化している部品については取替更新し、施設故障の低減に努めてまいります。

(8) ヒューマンエラーゼロ

鉄道保守作業に伴う列車の運転への支障や労働災害がありませんでした。2026 年度もヒューマンエラーゼロを目指します。

(9) 線路巡視強化・落石、倒木の点検強化

落石、倒木においては、自然災害を受けやすい路線で気候変動による豪雨災害が年々増えております。本線は落石、倒木、土砂流入の件数としては前年度より減りましたが、台風や、豪雨による被害の規模が大きい事象が多くありました。

今後は危険箇所の点検を強化し、雑木の伐採、落石防止柵の設置等、未然に防止する対策を積極的に行い低減に努めてまいります。

5 輸送の安全確保のための取組み

(1) 整備事業等の実施

輸送の安全を確保するため、老朽化対策や防災整備を実施しました。特に本年度は、倒木による事故を未然に防ぐ「予防保全」として、5日間の計画運休を伴う集中的な伐採を実施し、倒木による事故・輸送障害リスク解消に努めました。

◆主な整備事業

路線	内容	場所
大井川本線	地蔵トンネル補修・防災工事	神尾～福用
	軌道整備工事	全線各所
	レール継ぎ目補修	新金谷～代官町
	倒木予防伐採	門出～神尾
井川線	落石防止ネット補修工事	全線各所
	マクラギ交換・軌間正整工事	全線各所
	電車線摩耗更換	長島ダム駅構内

(2) 経営幹部による職場巡視

年末年始の輸送等に関する安全総点検の実施期間中に、会社幹部による各職場の巡視を行い、安全輸送に関する訓示を行うとともに、職員への安全意識の高揚に努めました。



(3) 鉄道管理会議の実施

毎月1回、運輸部門、施設部門、営業部門合同による作業計画、営業計画の確認、当社で起きた輸送障害などが発生した場合の各現場部署の対応を検証し、事象が起こった原因究明、再発防止策の考案を部署横断的に行う「鉄道管理会議」を実施しています。

特に繁忙期の前やイベント等の計画時には、輸送の安全に留意して綿密に打ち合わせを行っております。

(4) 教育訓練

年間計画に従い、各部署ごとに訓練、研修を行い、安全意識の向上を図っております。また、OJTによるベテラン社員からの技術継承を進めるとともに、マニュアルを整備して技術・ノウハウの明文化を図り、業務品質の均一化及び属人化の防止に努めています。

【主な訓練・研修実績】

◆入換作業講習



◆緊急地震速報訓練



(5) 年3回の出庫点検立会いと列車添乗指導

教導運転士が始発前の出庫点検と列車運転添乗指導を行い、点検箇所の把握、点検順序、操作・確認事項、列車運転時の指差確認喚呼、沿線注意箇所の把握、速度、ブレーキの基本操作の徹底が適切になされているか見極め、安全運行に努めています。

6 2025 年度事故等の発生件数

(1) 鉄道運転事故

2023 年度から 2025 年度の過去 3 年間、鉄道運転事故は発生しておりません。

(2) 輸送障害（30 分以上の遅延や運休）

2025 年度に発生した輸送障害は以下のとおりです。設備、車両の点検強化・線路巡視の強化・法面の点検および計画的な危険木の除去を行い、安全運行に努めてまいります。

大井川本線	災害による輸送障害		計11件
	倒木		8件
	落石		1件
	雷		1件
	枕木発火		1件
	設備・車両不具合による輸送障害		計8件
	車両故障		5件
	設備故障		3件
2025年度輸送障害			計19件

井川線	災害による輸送障害		計5件
	倒木		2件
	落石		1件
	大雨		1件
	崩土		1件
	設備・車両不具合による輸送障害		計2件
	車両故障		1件
	設備故障		1件
2025年度輸送障害			計7件

(3) インシデント（事故の兆候）

2025 年度は大井川本線、井川線ともインシデントは発生しませんでした。これからも安全運行に努めてまいります。

7 沿線の皆さまへのお願い

(1) 踏切事故防止について

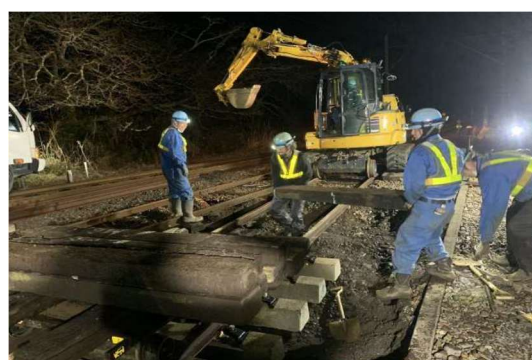


踏切では必ず一旦停止して左右の安全を確かめてください。また、警報機が鳴ったら踏切内に入らないでください。万が一、車が踏切内に閉じ込められたときは、車で遮断竿を押して脱出してください。

踏切およびその付近で異常を発見した場合は、踏切非常ボタンを押していただくか、警報機に取り付けてあります緊急連絡先まで、ご連絡くださいますようお願いいたします。

(2) 夜間作業のお願いについて

鉄道工事は、安全を確保するために夜間作業となることがあります。沿線の皆様にはご迷惑をおかけすることがございますが、可能な限り静かに、短期間に行うよう努めてまいります。何卒ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



8 ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せください。

〒428-8503 静岡県島田市金谷東2丁目1112番地の2

大井川鐵道株式会社 鐵道部

電 話 0547-45-4113

FAX 0547-45-4115

(月～金 9:00～17:00、年末年始を除く)

メール unyu@oigawa-railway.co.jp

WEB サイト <https://daitetsu.jp>

